

机に向かっても聞こえる

福祉の世界を全く知らなかった職員が、介護の現場で見つけたもの。ある事務員の経験を通して、福祉の仕事を考えてみました。

求められるもの

愛全園で仕事をするようになって8年が経ちます。はじめの6年間は、派遣社員として事務の仕事だけをしていました。一般事務しか知らなかった私には、聞きなれない専門用語を理解するだけでも大変でした。

事務の早出とは？

平成19年4月から開始。日曜と祝日を除いて、交替制で8時から(通常は9時)出勤します。介護部に協力するかたちで、主に朝食の介助にあたっています。

与えられた仕事を終わらせることで精一杯でした。事務だから利用者の方とかかわりを持つこともなく、また、それでいいのだと考えていました。

正職員となつてからは「仕事」の前には「愛全園の職員である」ことを求められていると感じます。周囲の期待に答えられない自分がいて、不安で悩んでいたころ、私にも早出業務の声がかかりました。正職員となつて、ちょうど1ヶ月が過ぎたころのことでした。



こんで最後ですからね～(平成22年1月・早出業務2年目)

うしても時間に追われがちです。事務部として協力できることは何か：介護部との話し合い

で決まったのが早出業務でした。

上司から「そろそろ早出をしてみようか」と声をかけられたとき私は、きつとひどく困った顔をしていただろうと思います。介護の経験がない私にできるのだろうかという強い不安がありました。

そんな私に上司は「最初からできる人はいないよ。初めは

みんなの仕事内容を見させてもらって、徐々にしていくようにすればいいから」と、やさしく送り出してくれました。

さあ、初日！

いぎ、2階フロアに上がると「助かります。〇〇さんの食事介助お願いします」と、いきなりの申し出でした。

本当に何もわからないまま、食事介助に入ることになったのです。困った時に声をかけられる範囲に介護職員がいてくれたのは心強かったです。やはり不安でした。

私が不安な気持ちでいれば、利用者の方にも伝わってしまう、しっかりとしなければ！と言いかせました。時間は、かなりかかりましたが、利用者の方はおいしそうに食べてくれました。

くもり時々晴れ

いつも、食べてもらえる日ばかりではありません。時には、なかなか食べてもらえない日もあります。時間ばかりが進んでしまい「自分は何をしに來ているんだろう。かえって迷惑を

平成20年5月

介護部の夜勤と日勤の入れ替わる朝の時間帯は、ど

家族で作ろう ロール白菜



【材料：4人分】

- ・白菜 1/2個
- ・合挽き肉 300g
- ・たまねぎ 1/2個
- ・パン粉 1/2カップ
- ・牛乳 50cc
- ・塩 小さじ1/2

A

- ・水 700cc
- ・だしの元 適量
- ・薄口しょうゆ 大さじ2
- ・酒 大さじ1・1/2
- ・みりん 大さじ2
- ・砂糖 小さじ1

だし汁

【つくり方】

- ①白菜は芯を切ってゆでます。
大・小の葉を合わせて4枚一組にします。



- ②Aをよく練り合わせ8等分したら①で包み、形を整えます。

☆アイデア☆

ほくらも手伝うよ！

巻き終わりをつまようじ代わりにパスタでとめれば型崩れせず、そのまま食べられます。



- ③できたものを、きっちり鍋にならべ、だし汁を入れます。中火で20分ほど煮れば完成です。

「けているんじゃないか」と落ち込むこともあります。そんな気持ちを利用者の方の笑顔が晴らしてくださいさるのです。

利用者の方の中には見慣れない顔がいるなどという表情の方もいらっしゃいます。私が、私は明るく大きな声で「事務所にいる栗波です。よろしくお願います。私のことも覚えてくださいいね。」とあいさつします。わかった、わかったとうなずく方や、はにかんで笑顔を返してくれる方、いろんな反応が返



事務部職員 栗波・林・高嶋(左から)

つてきます。

利用者の方と笑顔のキャッチボールができたらいいな、そうなりたいたいあと、考える自分がいました。そして、気持ちにゆとりを持つことを心がけるようにしました。

寄り添いケア

愛全園では「寄り添いケア」ということが、よく言われます。私なりに考え、利用者の方の手に触れ、お顔に触れて、スキンシップを取りながら食事の介助をさせていきたいと思います。

一人ひとりの状態に合わせて声かけをしたり、経験を積み重ねていくことでしっかりと食べていただけます。そこには笑顔や笑い声があり、達成感や自信も得られ

あらためて思うこと

ますし、自分の成長を感じることできます。そして、その成長は、利用者の方からいただいたものだと思えます。ですから、最近では「寄り添いケア」を心がけることで、逆に利用者の方に寄り添われているようにさえ感じます。

つたり、精神的に追い込まれることもあります。そんなとき、利用者の方とのかわりで得た自信、達成感が心の支えになっています。

愛全園は、今まで働いてきた職場と違い「笑い声」が聞こえる職場です。事務所内で机に向かっていても、利用者の方の「笑い声」を感じながら仕事ができる喜びにやりがいを感じています。

栗波 和代